

ファシリテーション研修

期日 令和元年10月10日

令和元年10月10日（木）にファシリテーション研修を実施しました。

始めに、講師がファシリテーターとなり、生徒が参加者として話し合いを進め、ファシリテーションスキルについて、体験しながら学ぶことができました。その後、生徒がファシリテーターとなり話し合いを仕切り、実践的な流れの展開をつくりました。生徒はより主体的に関わり、意見を出したり、まとめたり、積極的に関わるようになりました。特に、話し合いの前段階で必要となるスキルであるアイスブレイクについては、意欲的に臨んでいました。また、付箋を用いた旗揚げアンケートやジェスチャーでコミュニケーションを図るようなゲーム性のある手法を学ぶことで、生徒間の雰囲気は柔らかくなっていく様子が見られました。

ここで学んだファシリテーションスキルを活用して、大仙市農業振興情報センター研修生との相互交流の意見交換会に臨みました。この手法を取り入れて相互交流を実施してみると、全員から意見を引き出すことができ、かつ、話し合っている要点がぶれずにゴールに向かって進んでいるように感じました。おかげで、意見交換会では充実したマイライフプランを作ることができたと思います。

また、参加した研修生からも「会議の進め方が参考になった」という感想をいただき、ファシリテーション研修の成果を広げることができたと実感しました。

今後は、このようなスキルを活用する場面を増やしていくために、意見交換の機会を作っていきたいと思います。



(講師紹介)



(出された意見の見える化)



(ファシリテーションとは何か)



(講師がファシリテーターと
なっている話し合い)



(話し合い後の表現を演劇風に)



(生徒がファシリテーターと
なっている話し合い)